

「サステナブルバリューアップファンド1号」への出資について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、アセットファイナンスの取組強化およびコンサルティング力の向上に向けて、株式会社三井住友銀行・株式会社S M B C信託銀行が中心となって設立した「サステナブルバリューアップファンド 1号投資事業有限責任組合」（以下、「本ファンド」といいます。）に対して出資しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本ファンドは、主に首都圏の築年数がある程度経過したオフィスビル・商業施設を取得のうえ、積極的な改修工事を通じて不動産の価値向上を図ります。また改修工事等については、国内で同様の投資実績が豊富であるケッペル・キャピタル・ジャパン株式会社の主導のもとで実施されます。

国内では、これまでスクラップアンドビルドに偏りがちな不動産開発が行われてきましたが、持続可能な社会の実現に向けて、不動産ストックの活用の重要性が増しています。また、仙台市においては「せんだい都心再構築プロジェクト」が始動するなど再開発の動きがある一方で、増加する老朽建築物への対応が課題となっています。

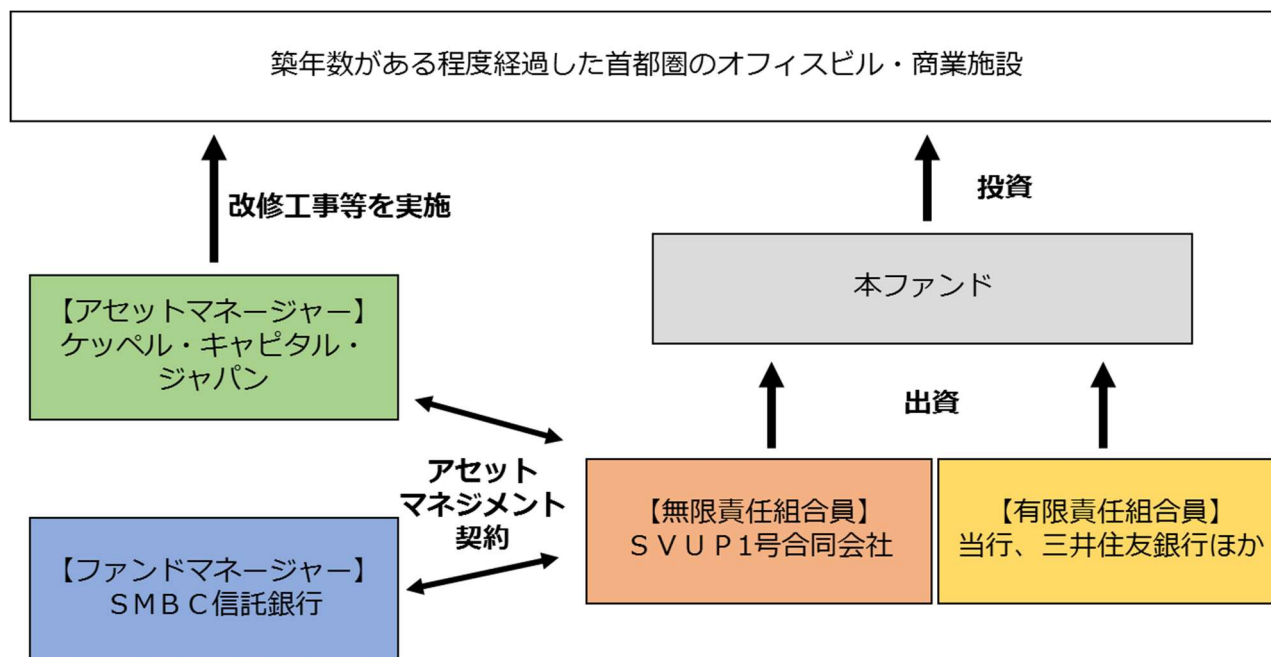
当行では、地域の課題に対するソリューションの提供に向けて、本ファンドとの連携を通じ、アセットファイナンスのノウハウ蓄積および不動産案件に対するコンサルティング力の向上を図ってまいります。

記

1. 本ファンドの概要

正式名称	サステナブルバリューアップファンド 1号投資事業有限責任組合
ファンド総額	100億円（目標）
ファンドマネージャー	株式会社S M B C信託銀行
アセットマネージャー	ケッペル・キャピタル・ジャパン株式会社
存続期間	5年間
主な投資対象	改修工事等で価値向上が見込める首都圏のオフィスビル・商業施設

2. 本ファンドのスキーム図



(関連するSDGs)



「SDGs実践計画」を2021年10月に公表しました！

当行では、SDGsに対する取組みを更に強化するため「七十七グループのSDGs宣言」に基づき、新たに「SDGs実践計画」を策定しました。
実践計画の詳細はこちらへ <https://www.77bank.co.jp/sustainability/sdgs2021.html>

以上